

報告第9号

株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、株式会社まちづくり小浜の経営状況を次のとおり報告する。

令和8年6月23日 提出

小浜市長 杉 本 和 範

第 16 期

決 算 報 告 書

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月 31日まで

株式会社 まちづくり小浜

(法人番号:8210001014334)

貸借対照表

商号 株式会社 まちづくり小浜

代表者 青木 美昭

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	(116,523,412)	流動負債	(91,191,272)
現金及び預金	47,923,902	買掛金	32,886,439
売掛金	41,746,554	1年以内返済長期借入金	13,836,000
棚卸資産	19,193,867	未払金	20,892,838
前払費用	5,354,614	未払法人税等	12,944,178
未払戻金	2,433,670	未払消費税等	206,000
立替当金	220,805	未払消費税込	7,633,700
貸倒引当金	350,000	預り保証金	2,352,117
			440,000
固定資産	(146,494,846)	固定負債	(235,770,051)
有形固定資産	(133,123,052)	社債	120,000,000
建物	106,939,616	長期借入金	110,516,000
構築物	474,438	長期未払金	5,254,051
機械及び装置	1,684,845		
車両運搬具	9		
工具、器具及び備品	9,613,028		
土地	5,434,176		
リース資産	8,976,940		
無形固定資産	(0)		
		負債の部合計	326,961,323
		(純 資 産 の 部)	
		株主資本	(-26,754,342)
		1. 資本金	25,000,000
		2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(51,754,342)
		(1)その他利益剰余金	(-51,754,342)
		繰越利益剰余金	51,754,342
		評価・換算差額等	(0)
		新株予約権	(0)
		純資産の部合計	-26,754,342
繰延資産	(37,188,723)	負債・純資産の部合計	300,206,981
繰開発費	37,188,723		
資産の部合計	300,206,981		

損益計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

商号 株式会社 まちづくり小浜

(単位：円)

科 目	金 額		
売上高 売上 指 定 管 理 収 入 受 託 事 業 収 入 補 助 金 等 事 業 収 入 売 上 値 引 戻 り	679,593,888 3,221,820 2,629,997 9,967,418	695,413,123 893,395	694,519,728
売 上 原 価 期 首 棚 卸 独 自 仕 入 消 化 験 仕 入 体 入 値 引 戻 し 仕 合 期 未 上 棚 卸 利	170,772,960 126,013,609 14,725,812 2	11,308,953 311,512,379 322,821,332 16,940,353	305,880,979 388,638,749
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 失		391,976,968	391,976,968 3,338,219
営 業 外 収 益 受 取 収 入		98,259 1,758,881	1,857,140
営 業 外 費 用 支 払 資 産 償 却 失 繰 上 償 却		5,344,776 1,200,000 533,627	7,078,403
経 常 損 失			8,559,482
特 別 利 益		0	0
特 別 損 失		0	0
税 引 前 当 期 純 損 失 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 損 失		221,042	8,559,482 221,042 8,780,524

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給与	140,466,229
雑費	87,655
旅費	711,203
広告	4,755,711
広荷造	892,329
委託	20,308,918
販売	15,632,643
賃借	6,380,168
役員報酬	12,690,700
従業員賞与	5,298,922
法定福利費	20,699,193
厚生交通費	2,648,639
通勤通却	2,940,722
減価償却	20,246,003
シテム利用	5,525,661
地代	28,475,059
修繕	1,765,823
車両	1,233,939
通交	1,606,733
水道	22,354,155
租税	1,286,345
寄付	30,000
接待	499,538
保険	1,650,440
備品	22,844,864
清掃	8,644,059
納付	1,363,632
会費	196,858
顧問	1,731,000
支払手数料	35,496,432
貸倒引当	60,000
雑費	3,453,395
合 計	391,976,968

棚卸資産の計算内訳

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	16,940,353
貯 蔵 品	2,253,514
合 計	19,193,867

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 まちづくり小浜

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

株主資本			
1. 資本金			
	当期首残高		25,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>25,000,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
	当期首残高		-42,973,818
	当期変動額		
	当期純損失	-8,780,524	-8,780,524
	当期末残高		<u>-51,754,342</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		-42,973,818
	当期変動額		
	当期純損失	-8,780,524	-8,780,524
	当期末残高		<u>-51,754,342</u>
株主資本合計			
	当期首残高		-17,973,818
	当期変動額		
	当期純損失	-8,780,524	-8,780,524
	当期末残高		<u>-26,754,342</u>
評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		-17,973,818
	当期変動額		
	当期純損失	-8,780,524	-8,780,524
	当期末残高		<u>-26,754,342</u>

営業報告書

(第16期)



おばま観光局


Obama Tourism Bureau

株式会社まちづくり小浜

2025年度 主なトピックス（社外詳細）

- ◆大阪・関西万博は、国内外から大きな注目を集めた一大イベントだった。
万博期間中は大阪を中心に、関西エリアで宿泊需要が高まり、宿泊施設の稼働率や単価ともに上昇。その経済効果は、約3兆6,000億円との試算も発表され、カプセルホテルで1泊2万円台の価格帯が話題になるなど、価格面でも大きなインパクトがあった。大阪を中心とした関西エリアが伸びた一方で、その周辺にある地域の宿泊需要は繁忙期を中心に伸び悩み、7月には根拠のない予言で宿泊予約のキャンセルや、8月、9月の記録的な猛暑で外出の自粛など、上半期～10月までは様々な影響を受けたと思われる。
- ◆ウクライナ情勢の長期化は円安を招き、ガソリン価格の高騰で輸入品を中心に様々な原材料価格の上昇、電気、ガス料金の負担が増加。加えて高騰する物価高に見合う人件費の上昇は、特に中小企業へのインパクトが大きく、適正価格への転嫁をしながらも、難しい舵取りの1年だった。
- ◆インスタ、Tik Tok、など、SNSを起点とした情報発信や顧客の情報収集は、ますます拡大、各施設が実施中のSNS投稿は重要さを増し、集客に繋がっている。

- ・ 債務超過（2024年度決算）
- ・ 経営健全化方針（7月）
- ・ 地域商社事業の躍進
- ・ 宿泊事業の明暗

- 
- ・ 経営体制の見直し着手。
 - ・ 事業拡大のフェーズから、安定経営のフェーズへ変化。
 - ・ 今まで以上に全社一丸で、経営基盤強化に取り組んでいくことが求められた1年。

社内 トピックス（社内詳細）

◆ 「債務超過について」

まちづくり小浜が行ってきた事業拡大は、御食国若狭おばま観光まちづくり戦略に則り推進してきた。結果、2022年に売上高、約2億5,000万円であった会社は6億円超える規模に大きく成長、会社設立の行政目的である「小浜市の地域経済の活性化、観光を切り口に消費を生み出し、その効果を市内事業者に波及させること」に合致し、地元への貢献が出来ている。

◆ 「第三セクター等経営健全化方針」について

一方で、2024年度決算で債務超過となり、小浜市より経営体制の変更や改革を伴う経営健全化方針が示され、まちづくり小浜は、観光関連事業の拡大（挑戦）のフェーズから、安定経営のフェーズへと切り替えながら、単年度の黒字化を目指す1年となった。

◆ 「地域商社事業の躍進（稼ぐ事業と伸ばす事業）」について

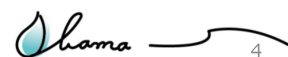
地域商社事業、飲食事業は売上高、営業利益共に過去最高を更新し続けており、引き続き全社をけん引していく「稼ぐ事業」として更なる向上に取り組んでいく。

◆ 「宿泊事業の明暗」

開業から3年目の若狭佳日は業績を伸ばしている。開業から9年目の小浜町家ステイは、競争環境の変化に加え、昨年度改善投資を控えたこと等も重なり収益力低下。

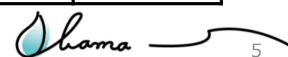
しかし宿泊事業は、会社の未来を支えていく「伸ばす事業」として位置づけ、「売り上げに直結する経費」については、営業利益視点を加味しながらも適切に判断し使用する

- 売上は2024年度 5 億9,000万円→2025年度 6 億8000万円まで増加。
総売上（指定管理収入や受託事業収入、補助金等事業収入を含む）は 6 億1,200万円→6億9000万円
- 新規採用及び給与水準のアップにより、人件費は1億5,900万円→1億8,400万円に上昇。
- 地域商社部門は、売上・営業利益ともに計画を上回り、今年度も開業以来の実績を積み上げている。
- 飲食事業部は売上は計画を上回ったものの、原価率の悪化、人件費の増加により、営業利益の計画には届いていない。
- 宿泊部門は計画に届いていない。特に小浜町家ステイは、予算と実績の乖離が大きく、同種、類似の施設が増加し影響を受ける中で、昨年度当初計画していた改善投資を控えたことも要因のひとつと考える。
- 若狭佳日の改善スピードは加速。売上高で2億円を突破。4/9福井新聞掲載の「観光客推奨意向」でも、小浜市阿納地区が福井県内堂々の5位。前回の調査結果同様に、地域を支える原動力となっている。
- 全社としては、激変する環境変化に対応しつつも堅実経営で、まずは単年度黒字を積み上げ、経常利益黒字化と債務超過解消に繋げていく。



2025年度【実績】

	地域商社	飲食事業	宿泊事業		公益事業	経営企画室	全社	
			町家ステイ	若狭佳日				
売上	350,377	79,144	238,890	36,671	202,219	10,289	0	678,700
指定管理収入	3,222	0	0	0	0	0	0	3,222
受託事業収入	50	0	689	0	689	1,891	0	2,630
補助金等事業収入	0	0	0	0	0	9,967	0	9,967
原価	227,312	31,062	42,008	4,020	37,988	5,499	0	305,881
販管費(人件費)	39,719	32,171	83,763	13,857	69,905	94	29,086	184,832
販管費(人件費以外)	41,710	11,191	126,970	25,796	101,174	12,665	14,609	207,145
うち減価償却費	6,933	196	11,974	6,790	5,184	156	987	20,246
営業利益	44,908	4,721	-13,162	-7,003	-6,159	3,889	-43,695	-3,338
営業利益率	13%	6%	-5%	-19%	-3%	18%	-	0%
営業外収益	526	80	642	211	431	109	500	1,857
営業外損益	33	0	1,659	36	1,623	0	5,386	7,078
経常利益	45,401	4,801	-14,179	-6,828	-7,351	3,998	-48,580	-8,559
経常利益率	13%	6%	-6%	-19%	-4%	18%	-	-1%
原価率	64%	39%	18%	11%	19%	25%	-	44%
人件費率	11%	41%	35%	38%	35%	0%	-	27%



【予算差】 (2025年度実績－年度予算)

- 2025年度予算と比較して、売上予算差は2,620万円増。一方で、売上以上に増加したは原価（人件費・販管費含む）
- 全社利益未達の要因は、宿泊事業の売上予算及び利益予算の未達成が影響。トップラインを上げつつ収益力改善が課題

	地域商社	飲食事業	宿泊事業		公益事業	経営企画室	全社	
			町家ステイ	若狭佳日				
売上	33,128	10,626	-21,839	-13,467	-8,371	4,289	0	26,204
指定管理収入	-0	0	0	0	0	0	0	0
受託事業収入	50	0	689	0	689	1,891	0	2,630
補助金等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
原価	25,366	7,080	3,001	4,020	-1,019	3,099	0	38,546
販管費(人件費)	-48	3,517	-9,238	-2,734	-6,504	94	-744	-6,420
販管費(人件費以外)	-1,037	1,599	843	-7,110	7,953	2,698	3,568	7,670
うち減価償却費	-2,048	196	-4,157	258	-4,416	156	987	-4,866
営業利益	8,897	-1,569	-15,755	-7,643	-8,112	289	-2,823	-10,962
営業利益率	1%	-3%	-6%	-20%	-4%	-5%	-	-2%
営業外収益	526	80	642	211	431	109	500	1,857
営業外損益	33	0	459	36	423	0	-4	488
経常利益	9,390	-1,489	-15,572	-7,469	-8,104	398	-2,319	-9,593
経常利益率	2%	-3%	-6%	-20%	-4%	-4%	-	-1%
原価率	1%	4%	3%	11%	0%	10%	-	4%
人件費率	-1%	-1%	-1%	5%	-2%	0%	-	-2%

【前年差】 (2025年度実績－2024年度実績)

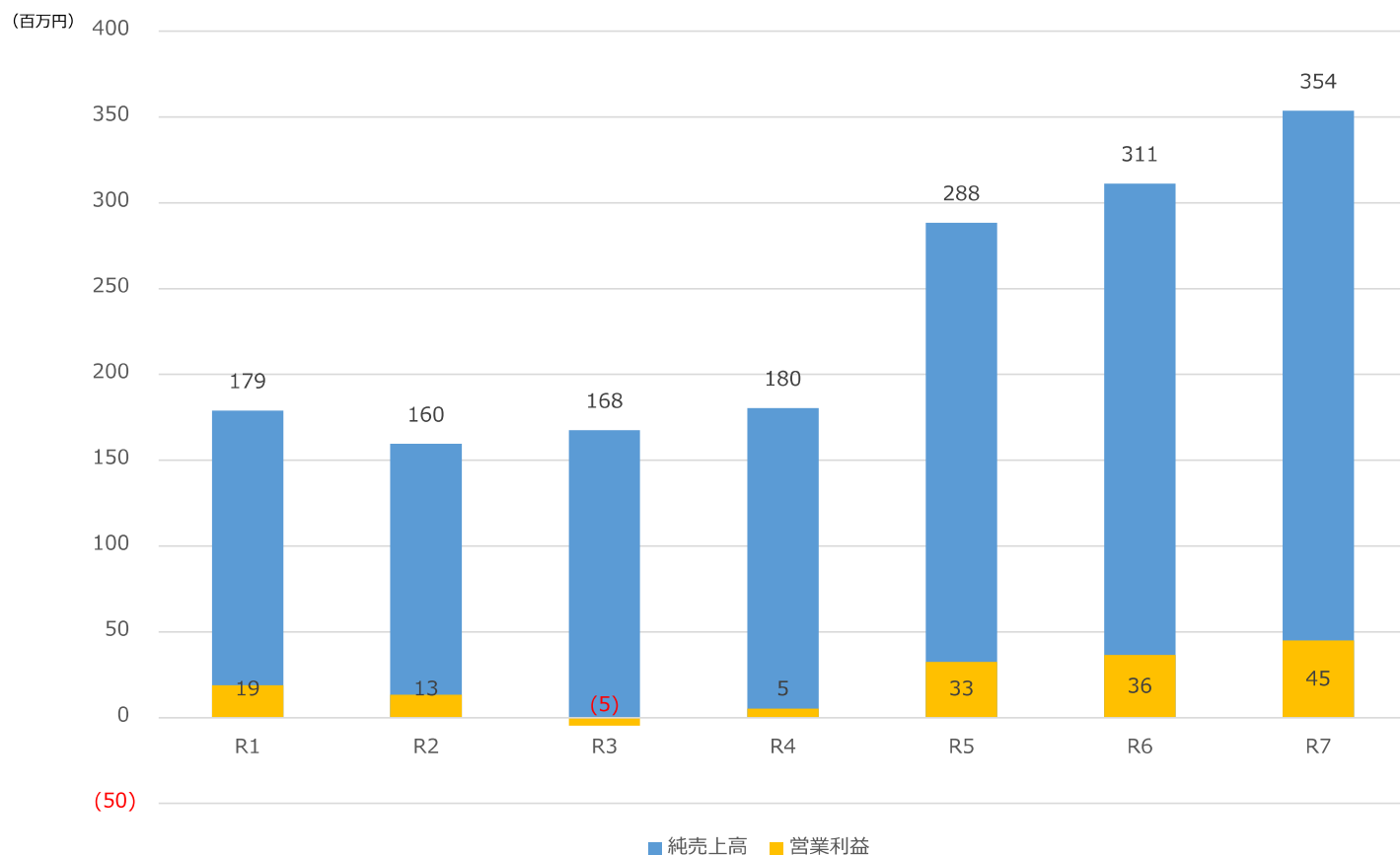
- 2024年度実績と比較すると、売上は8,900万円増加。加えて売上拡大に伴う新規採用や、ベースアップを含む人件費や、仕入れ価格が高騰する中で、前年差では営業利益も経常利益も、それぞれ約1,000万円づつ増加し収益力向上が見られる

	地域商社	飲食事業	宿泊事業		公益事業	経営企画室	全社	
			町家ステイ	若狭佳日				
売上	45,667	16,906	33,552	-5,421	38,974	-6,372	0	89,754
指定管理収入	-1,611	0	0	0	0	0	0	-1,611
受託事業収入	-200	0	689	0	689	-1,771	0	-1,282
補助金等事業収入	-1,452	0	-89	-89	0	-2,804	0	-4,344
原価	26,148	8,332	2,859	-910	3,769	3,061	0	40,399
販管費(人件費)	8,405	4,614	12,848	1,197	11,651	94	-73	25,888
販管費(人件費以外)	-646	1,980	15,328	-390	15,718	-9,811	-1,117	5,734
うち減価償却費	-1,342	-33	-4,428	-129	-4,299	128	752	-4,924
営業利益	8,497	1,981	3,118	-5,407	8,525	-4,290	1,190	10,496
営業利益率	1%	2%	2%	-15%	6%	-7%	-	2%
営業外収益	312	4	436	173	263	-205	-848	-301
営業外損益	24	0	261	-1	261	0	-242	43
経常利益	8,784	1,985	3,293	-5,234	8,526	-4,495	584	10,151
経常利益率	1%	2%	3%	-15%	6%	-8%	-	2%
原価率	0%	3%	-2%	-1%	-2%	17%	-	1%
人件費率	1%	-4%	0%	8%	-1%	0%	-	1%

地域商社 (売上高・営業利益)

8

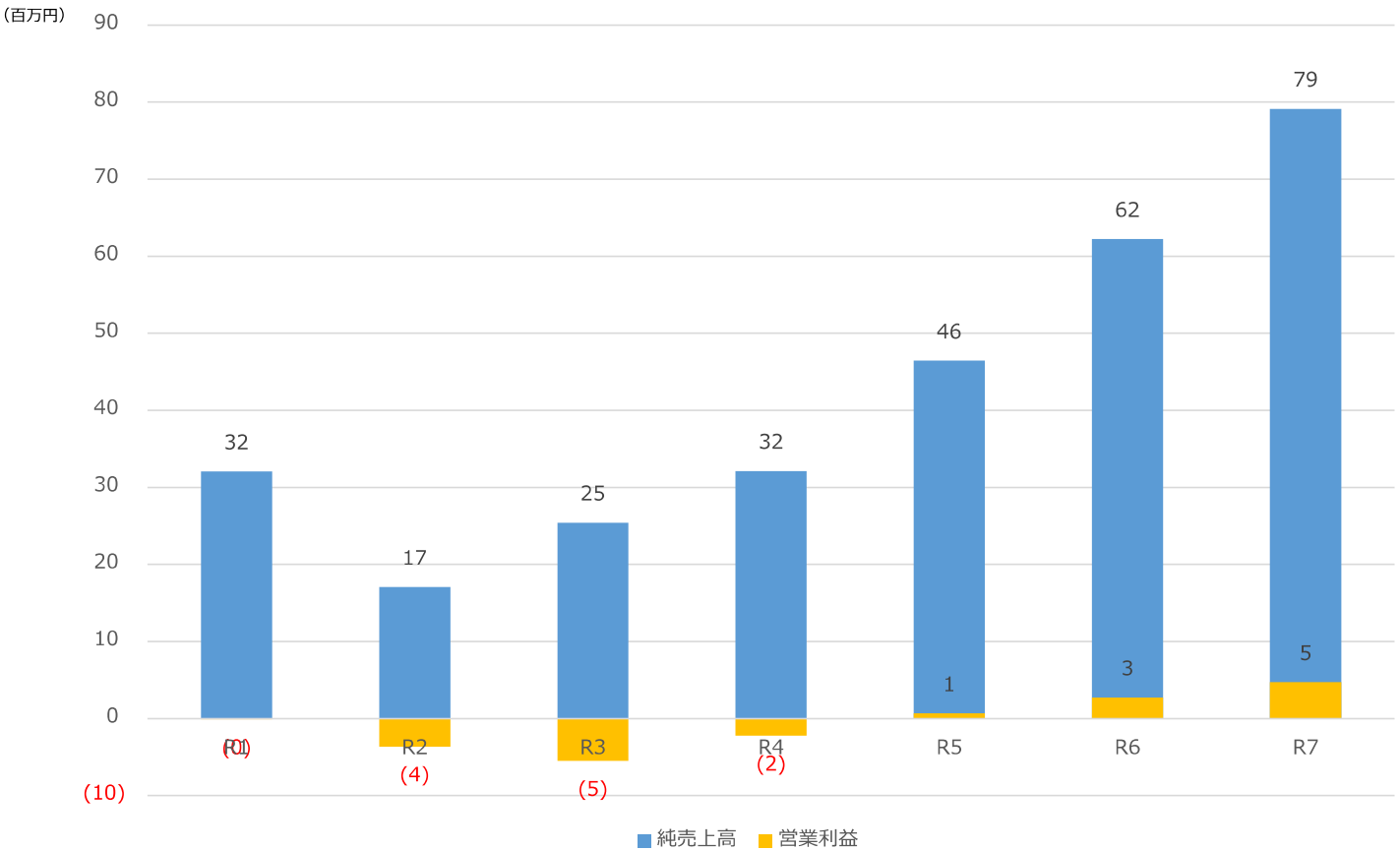
地域商社 経年推移



濱の四季
(売上高・営業利益)

10

濱の四季 経年推移

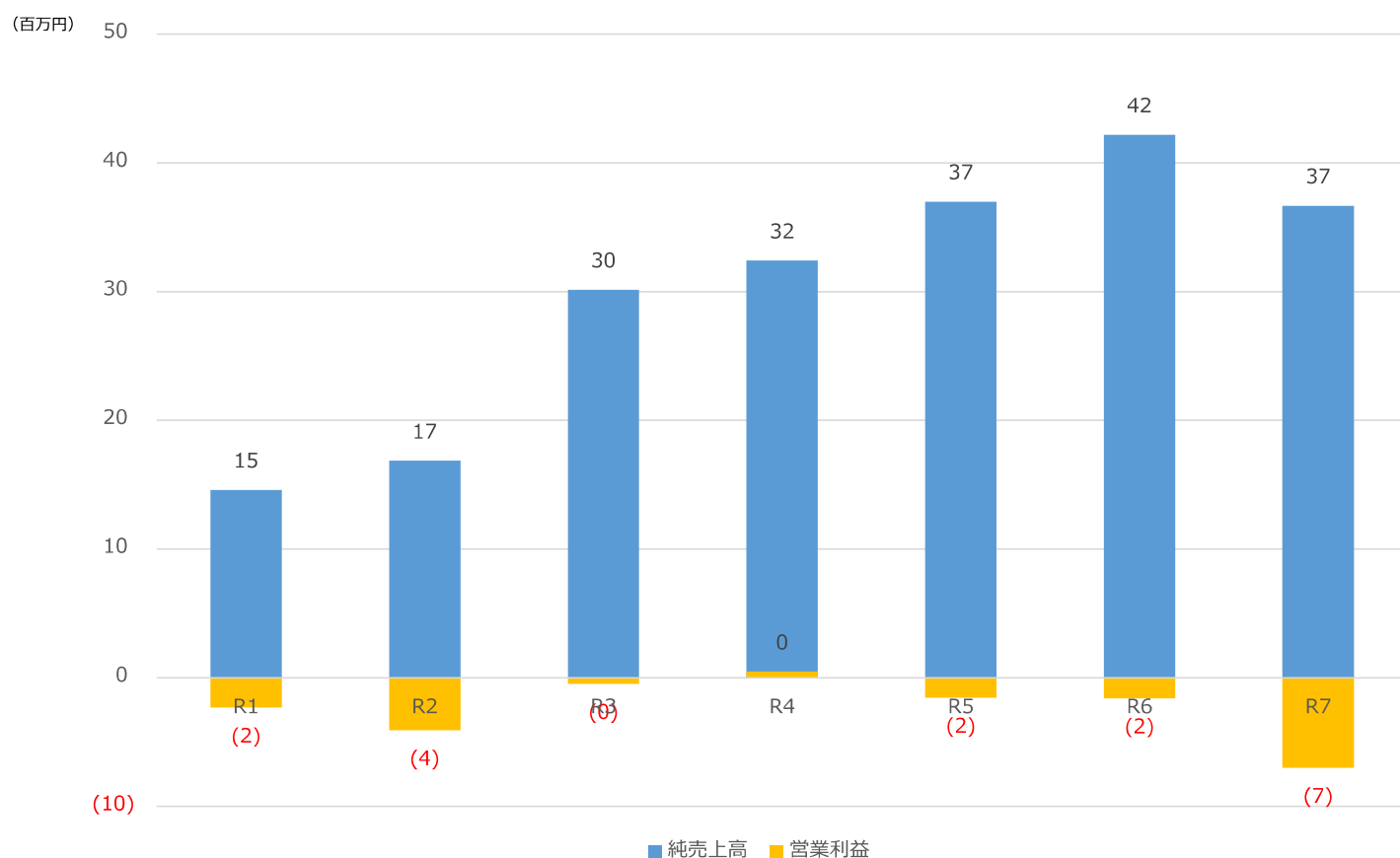


小浜町家ステイ

(売上高・営業利益)

12

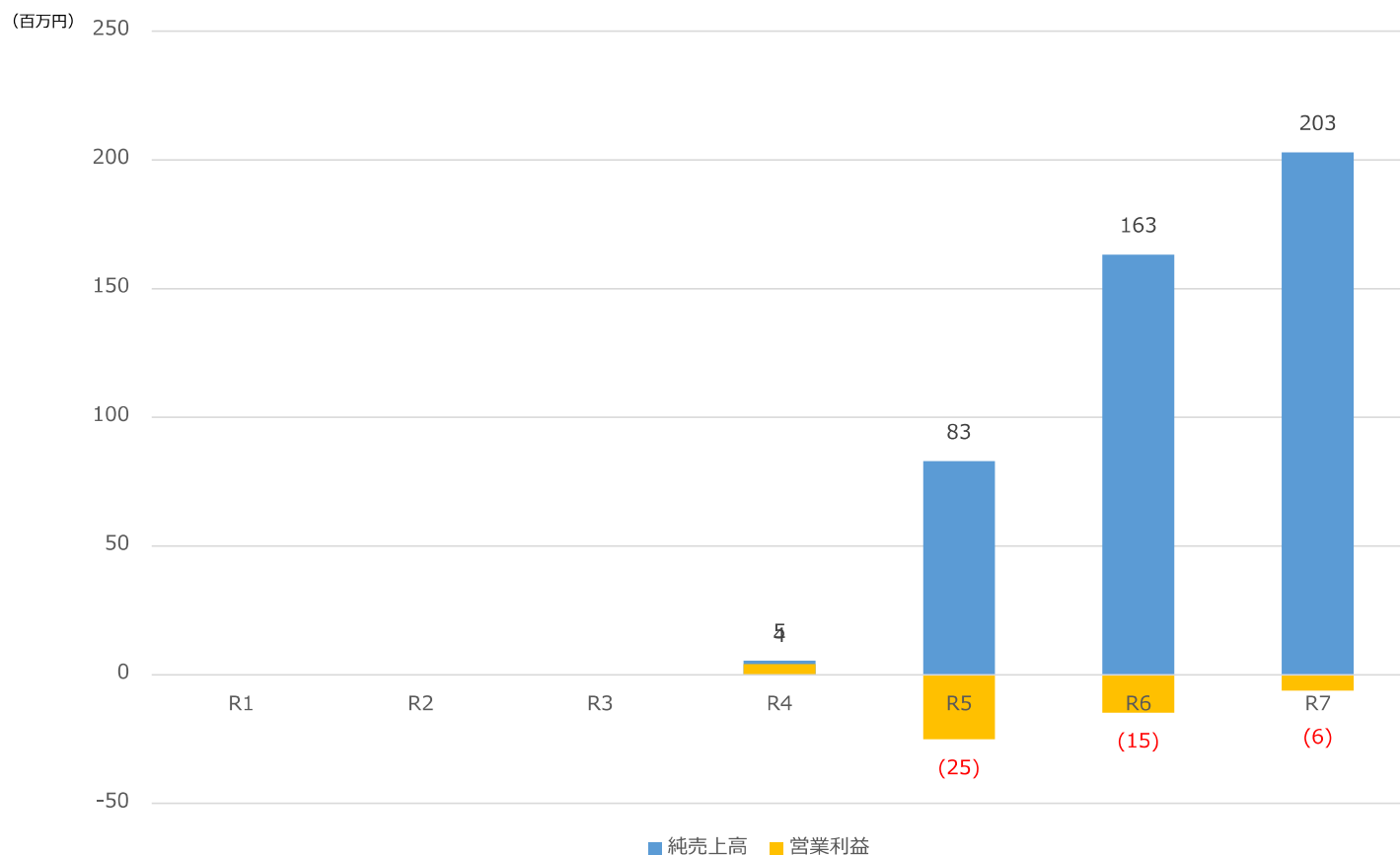
小浜町家ステイ 経年推移

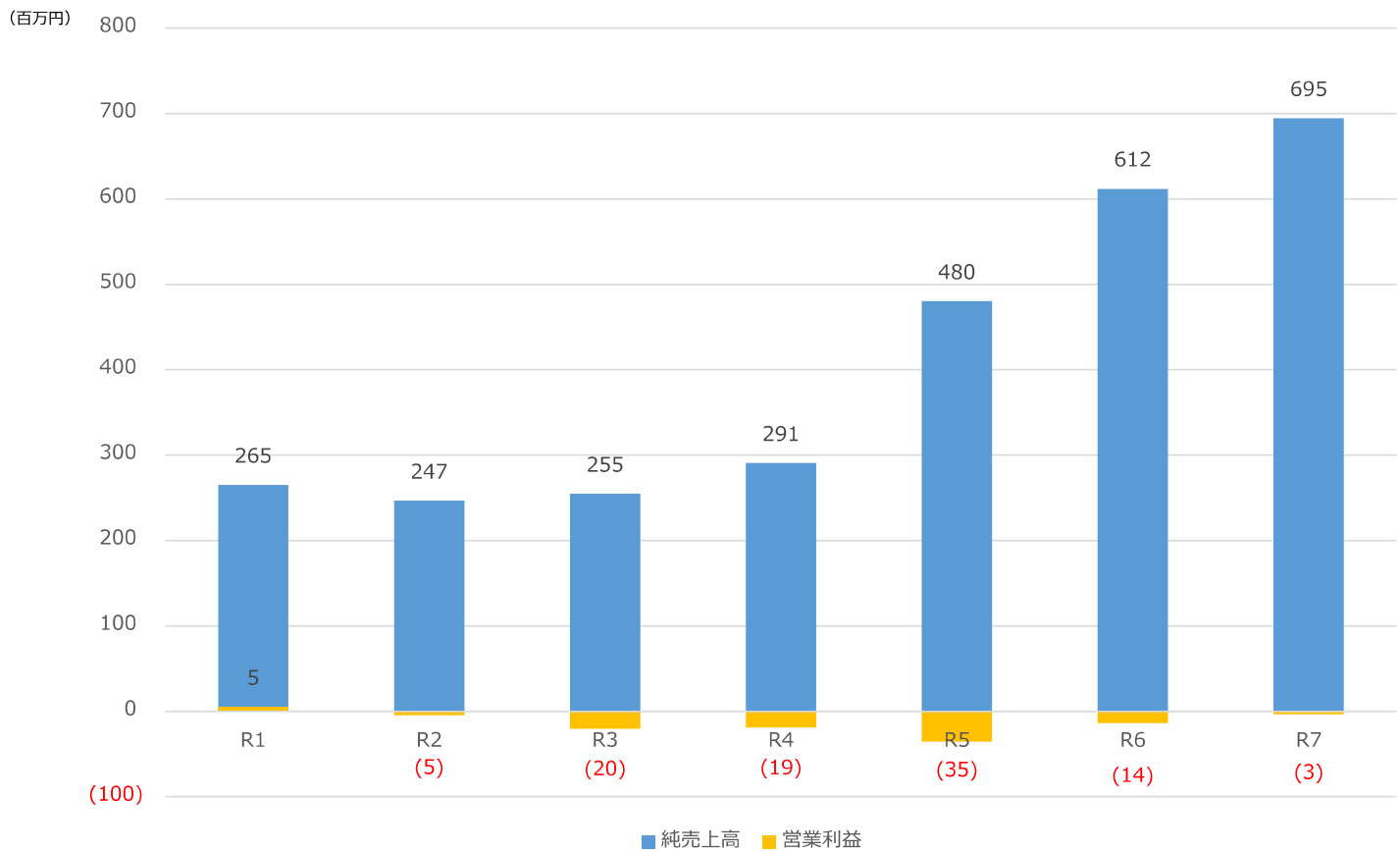


若狭佳日 (売上高・営業利益)

14

若狭佳日 経年推移





主要決算項目：経年推移（第14期～第16期）

項目	第14期 令和5年度	第15期 令和6年度	第16期 令和7年度	推移・分析
売上高	約4.86億円	約6.13億円	約6.95億円	3年間で約2.1億円増加。事業規模は大きく拡大
売上総利益	約2.58億円	約3.47億円	約3.89億円	事業拡大+稼ぐ力が増加
販管費	約2.93億円	約3.60億円	約3.92億円	売上+人件費増加に伴い拡大
営業利益	▲3,562万円	▲1,383万円	▲338万円	本業の赤字は大幅改善。
経常利益	▲3,204万円	▲1,871万円	▲856万円	金融費用負担下でも改善。
特別利益	約2,850万円	0円	0円	第14期、特別利益計上
当期純利益	▲579万円	▲1,892万円	▲878万円	第15期、16期、特別利益計上無し
純資産	約95万円	▲1,797万円	▲2,675万円	第15期債務超過、16期収益力向上も純資産は悪化
借入金	約1億3,819万円	約1億2,435万円	約1億1,051万円	3年間で、借入金約2,700万円圧縮。
減価償却費	約3,018万円	約2,517万円	約2,024万円	過去投資分
【参考】	重要な経営指標	EBITDA = 「金利・税金・減価償却前利益（営業利益+減価償却費）」		
EBITDA	▲544万円	+1,134万円	+1,686万円	EBITDAベースでは、15期で黒字化 16期黒字継続

事業計画書

(第17期)



おばま観光局

Obama Tourism Bureau

株式会社まちづくり小浜

経営基本方針

1, 『事業拡大(挑戦)のフェーズから、安定のフェーズへ』

- ・採算性重視を心掛け、キャッシュ創出力を高める経営

2, 『既存事業を強くする』

- ・まだまだやれる。今ある事業を磨き上げ、更に発展させていく

3, 『債務超過の解消に道筋をつける』

- ・単年度の黒字を達成、これを積み上げ、早期に債務超過を解消する

【既存事業を更に強くする、更に磨き上げるために】

- ・ お客様目線を徹底し、お客様の期待を超える（継続）
- ・ 新規顧客を創出し続け、リピーター増加に繋げる（継続）
- ・ 小浜のプレゼンターでありたい（継続）

※ 実践しているのは『QSC+H』更に 競い合い高めていく
(クオリティ、サービス、クリンネス、+ホスピタリティ)

2026年度予算まとめ

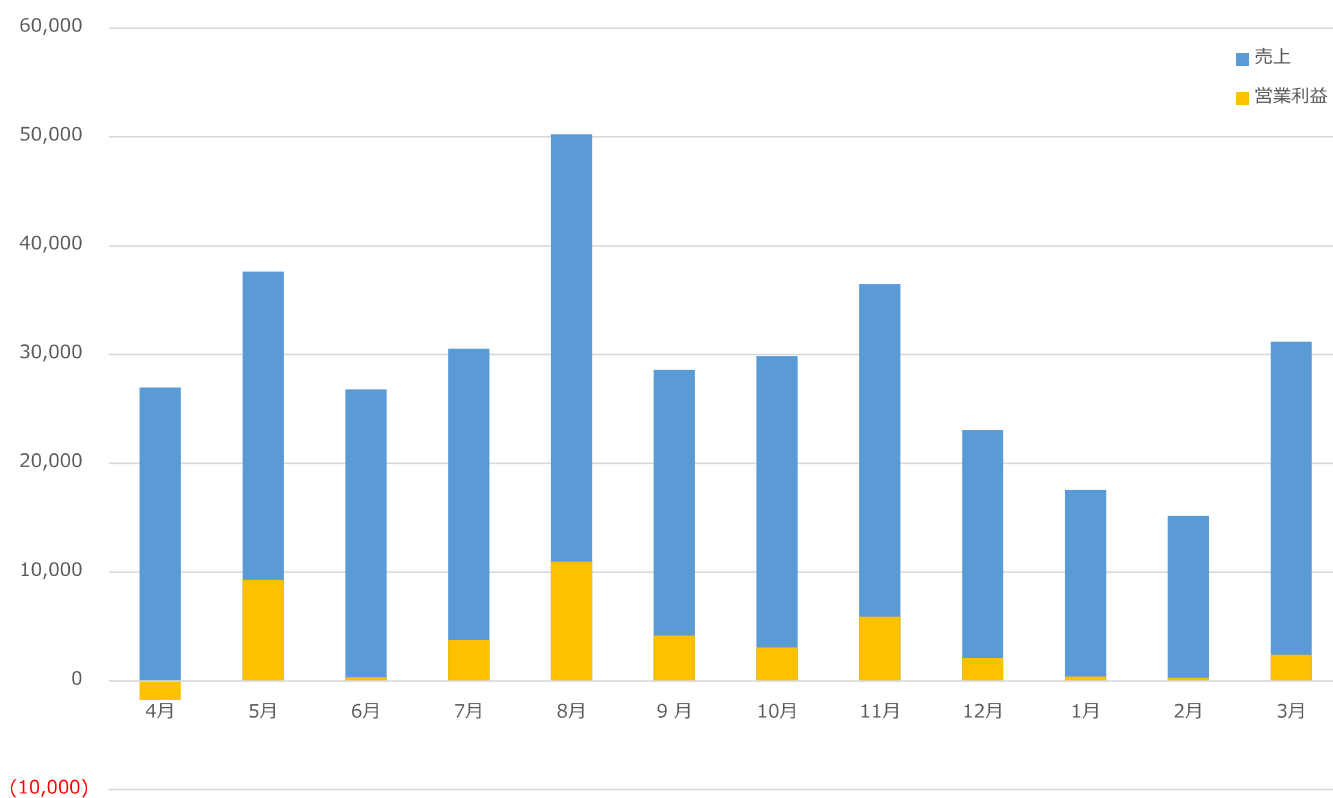
	地域商社	飲食	宿泊事業		公益事業	企画管理室	全社	
			町家ステイ	若狭佳日				
売上	354,104	84,554	299,632	48,470	251,163	9,039	0	747,329
指定管理収入	1,609	0	0	0	0	0	0	1,609
受託事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金等事業収入	0	0	0	0	0	4,000	0	4,000
原価	227,386	31,949	55,356	0	55,356	5,359	0	320,050
販管費(人件費)	44,733	35,245	96,632	13,633	82,999	0	33,134	209,743
販管費(人件費以外)	42,592	12,192	144,599	33,976	110,623	6,000	14,809	220,191
営業利益	41,002	5,168	3,045	860	2,185	1,680	-47,942	2,954
営業利益率	12%	6%	1%	1.8%	0.9%	13%	-	0%
営業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外損益	0	0	1,200	0	1,200	0	5,390	6,590
経常利益	41,002	5,168	1,845	860	985	1,680	-53,332	-3,636
経常利益率	12%	6%	1%	1.8%	0.4%	13%	-	0%
原価率	64%	38%	18%	0.0%	22.0%	41%	-	43%
人件費率	13%	42%	32%	28.1%	33.0%	0%	-	28%

地域商社 (2026年度)

22

地域商社 収支【計画】

道の駅



(10,000)

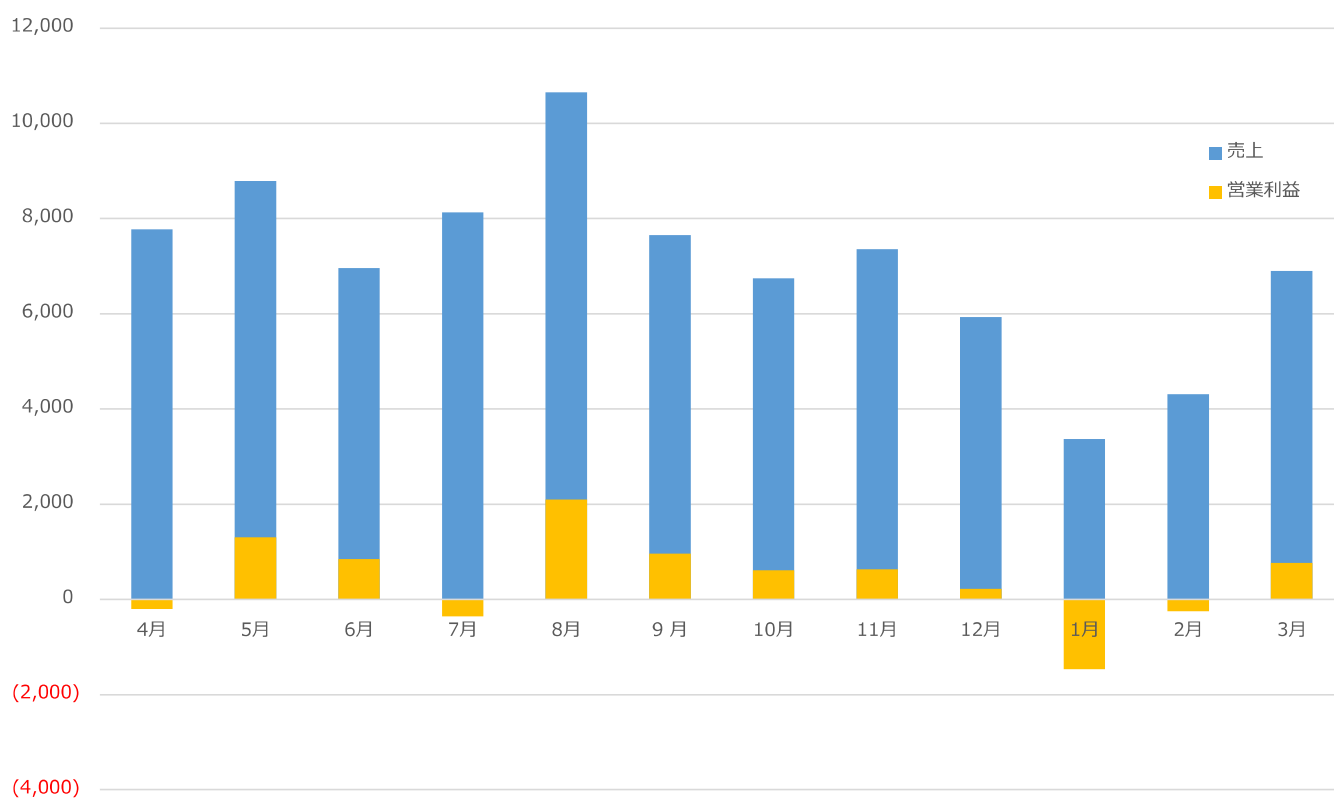
■ 店舗内部分改修（棚増加、レイアウト変更）で100万円、新商品開発に100万円、フードコート強化で100万円を計上。

濱の四季 (2026年度)

24

濱の四季 収支【計画】

濱の四季



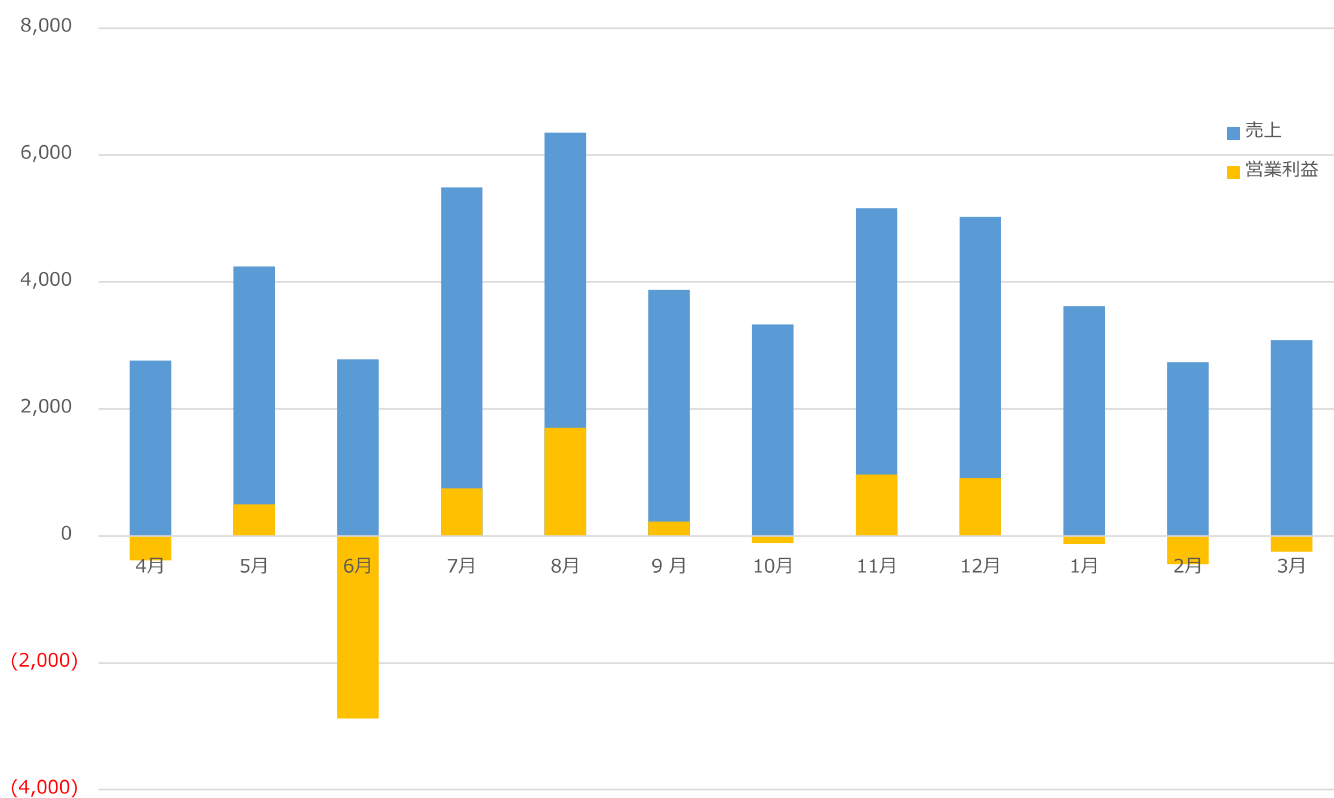
■ 4月完成の第2厨房関連整備費として120万円計上。「食の安心安全、顧客満足度向上、業務効率化」で収益力を改善

小浜町家ステイ (2026年度)

26

小浜町家ステイ 収支【計画】

小浜町家ステイ

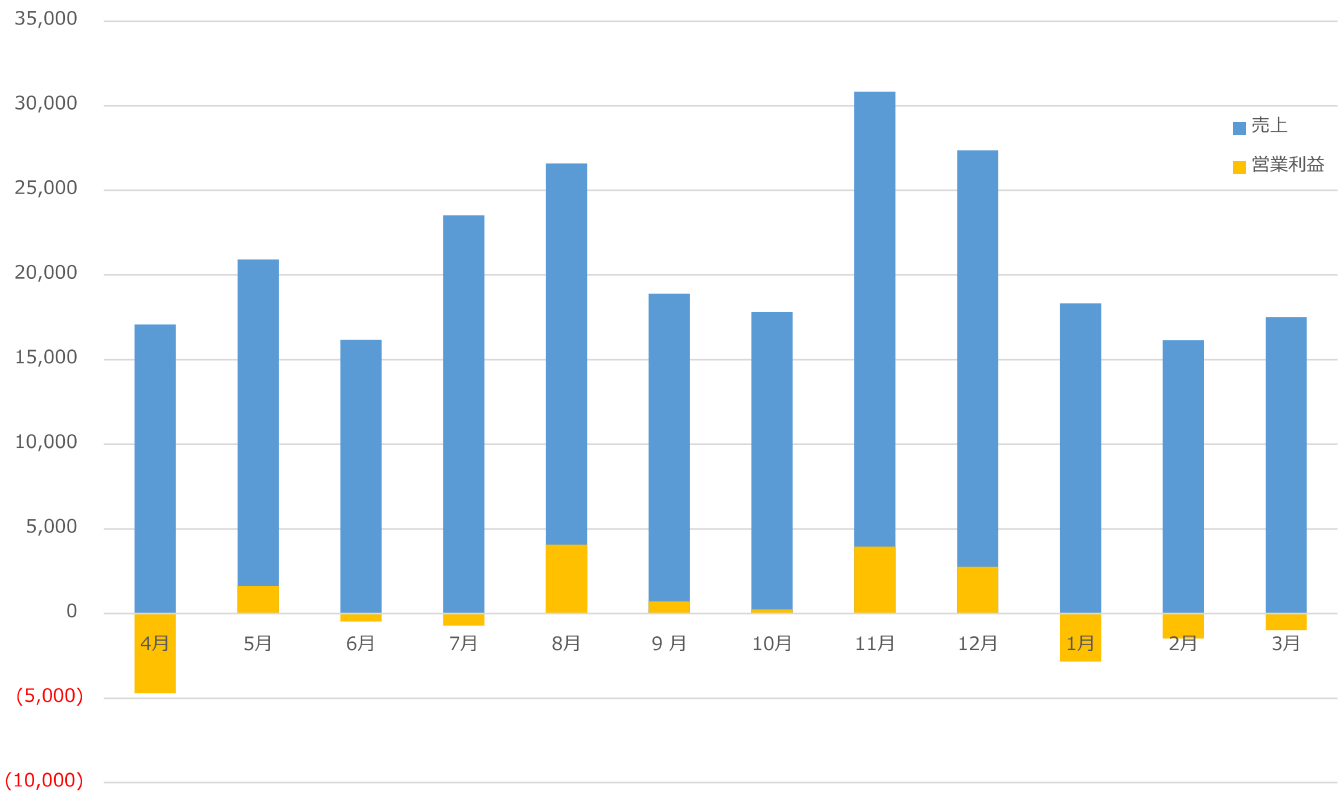


■ 営業力と収益力強化を図るための改善投資予算として、6月に250万円を計上（項目、市と協議。補助金の活用も検討）

若狭佳日
(2026年度)

若狭佳日 収支【計画】

若狭佳日



■ 集客力に直結する料理充実のため、4月、器等購入費用として400万円を計上。稼働率を向上させ収益確保に繋げる